

事業報告書

- 検定職種：機械保全職種
- 事業年度：平成30(2018)年度『平成30(2018)年4月1日～平成31(2019)年3月31日』

事項	計画	状況
1 試験科目の認定等 (1) 指定試験機関技能検定委員の選任計画等 【能開則第63条の9第3項及び第4項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成担当(査読担当含む)の検定委員は、3月末で任期を迎えるため、3月中に再任の交渉を行う。また、必要に応じ交代又は追加で選任する。試験問題作成担当の検定委員は、25名～30名程度とする。 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員(任期は平成29年12月から平成30年11月末)は、再任及び交代・追加により、平成29年度並みの250名～300名程度を選任する(任期は1年)。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成担当(査読担当含む)の検定委員数 計29名(首席1名、機械系保全作業5名、電気系保全作業5名、設備診断作業6名、特級5名、基礎級3名、査読担当4名) 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員数 3級：158名、1・2級：269名
(2) 試験問題等の作成等の計画 【能開則第63条の9第1項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成委員会を、特級、機械系保全作業(基礎級含む)、電気系保全作業、設備診断作業の4つの部会に分け、各部会の担当委員で検討作成するほか部会を年4～6回開催し、技術的検証と確認を行う。 試験問題の品質維持向上と誤り防止として、作成工程の維持・強化、チェック体制の維持・強化を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 問題作成委員を増員し、かつ、その中に査読専門担当の委員を置き、技術的事項のチェックを強化する。 ▶ 試験問題作成事務局でのチェック強化のほか、専門校正業者での校正も実施する。 ▶ 作成スケジュールを見直して、検証時間を多く確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成委員会を下記のとおり開催した。 特級：6回 機械系保全作業：8回 電気系保全作業：9回 設備診断作業：6回 通常作成工程に加えて下記チェックを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 査読専門の問題作成委員のチェックを実施 ▶ 校正ソフト利用と併せて専門校正業者での校正校閲 ▶ スケジュールを早め事務局での確認・編集・校正を行った <p>ただし、第2回試験で問題誤りが2件発生したため、確認工程を見直し、再発防止を図る。</p>
(3) 試験問題の水準調整会議の	<ul style="list-style-type: none"> 3級：4月下旬～6月上旬にて、全国主要都市(※)で各1回実施 	<ul style="list-style-type: none"> 水準調整会議を下記のとおり実施した。

事 項	計 画	状 況
<p>開催計画 【能開則第63条の9第1項に関する事項について】</p>	<p>仙台、大宮、東京、静岡、金沢、名古屋、大阪、岡山、福岡 ・ 特・1・2級：10月初旬～11月下旬にて、全国主要都市（※）で各1回実施 仙台、大宮、東京、静岡、金沢、名古屋、大阪、岡山、福岡 ※実施都市は、検定委員の在住状況、出席状況により最終決定。</p>	<p>・ 3級：全国7か所で実施 5月21日（品川）、5月24日（名古屋）、5月25日（大阪）、5月30日（博多）、5月31日（岡山）、6月4日（金沢）、6月5日（大宮） ・ 特級・1・2級：全国7か所で実施 10月22日（品川）、10月24日（大宮）、10月30日（博多）、10月31日（岡山）、11月5日（金沢）、11月8日（名古屋）、11月9日（大阪）</p>
<p>2 技能検定試験の実施等 (1) 公示・公表 ① 実施公示 【技能検定実施計画において規定される指定試験機関が行う実施公示】</p>	<p>・ 特級・1級・2級・3級について、ホームページ上において、平成30年3月1日から平成31年3月末まで公示する。 ・ 3級の詳細は、ホームページ上において平成30年3月1日から平成31年2月末まで、特級・1級・2級の詳細は、平成30年8月1日から平成31年3月末まで掲載する。 ・ 受検案内は、平成27～29年度に受検者がいた企業、工業高校、関係団体、会員企業等に配布し、周知する。また、ホームページからダウンロードできるようにする。</p>	<p>・ 公示は下記のとおり実施した。 3月1日から翌年2月28日までホームページにて公示内容を掲載した。併せて試験要項、試験概要、受検申請で詳細の案内を掲載した。 ・ 受検案内の配布 過去3年間の申請団体に以下のスケジュールで配布し周知を行った。 3級：2018年3月1日 特級・1・2級：8月1日</p>
<p>② 実技試験問題の概要、合否基準並びに試験問題及びその正答の公表</p>	<p>① 実技試験（製作等作業試験）の概要 ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題概要は、ホームページにおいて、試験実施の2週間前を目途に掲載して公表するほか、受検票とともに通知する。 ② 合否基準 ・ ホームページにおいて記載して公表する。 ③ 試験問題及びその正答の公表 ホームページにおいて、すべての実技試験日程が終了した日から2週間以内に、問題及び正答を公開する。ただし、機械系保全作業、設備診断作業の判定材料（資料、写真、図版等）及び電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題、機材、正答は公開しない。</p>	<p>① 実技試験の概要【電気系保全作業（製作等作業試験）】 ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）は以下の通り公表した 3級：ホームページにおいて、5月16日（試験実施1か月前） 1・2級：ホームページにおいて、11月7日（試験実施1か月前） ・ 受検票は以下の通り発送した 3級：個人申請5月25日、団体申請6月1日 1・2級：個人申請11月14日、団体申請11月21日 ② 合否基準 ・ 運営するホームページにおいて常時公表している ③ 試験問題およびその正答は以下の通り公表した ・ 3級：ホームページにおいて、7月17日【※】 ・ 特級・1・2級：ホームページにおいて、1月25日【※】 ※製作等作業試験である電気系保全作業の正答、機材、および判断等試験である機械系保全作業、設備診断作業の判定材料(写真、</p>

事項	計画	状況
		図版等)は除く
(2) 受検申請書の受付 【法第47条第1項に関する事項】	① 3級（機械系保全作業、電気系保全作業）： ・ インターネット受付：4月2日（月）～4月20日（金）23：59 ・ 郵送受付：4月2日（月）～4月13日（金）消印有効 ② 特級・1級・2級（機械系保全作業、電気系保全作業、設備診断作業） ・ インターネット受付：9月10日（月）～10月5日（金）23：59 ・ 郵送受付：9月10日（月）～9月28日（金）消印有効	① 3級 ・ インターネット：4月2日（月）～4月20日（金）23：59 ・ 郵送：4月2日（月）～4月13日（金）消印有効 ② 特級・1級・2級 ・ インターネット：9月10日（月）～10月5日（金）23：59 ・ 郵送：9月10日（月）～9月28日（金）消印有効
(3) 受検票等の交付に係る計画 【法第47条第1項に関する事項】	申請事項が適正なものに対して、試験日の1か月前～3週間前に、受検票を受検者（または受検申請の取りまとめ者）宛に発送する。	・ 受検票は以下の通りの発送した 3級：個人申請5月25日、団体申請6月1日 1・2級：個人申請11月14日、団体申請11月21日
(3) 実技試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙1のとおり。	別紙1のとおり。
(4) 学科試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙1のとおり。	別紙1のとおり。
(5) 試験の合否判定等の状況 【法第47条第1項に関する事項】	-	・ 合否判定基準に基づき下記のとおり技能士合格と判定した 特級：183人 1級：2,039人 2級：3,590人 3級：3,256人 基礎級：917人 随時3級：45人
(6) 合格者の発表等 【法第47条第1項に関する事項】	① 3級：8月下旬及び10月上旬（追試験分）に合格発表を行う計画で、厚生労働大臣による合否決定の手続き等を実施する。 特級・1・2級：平成31年3月下旬に合格発表を行う計画で、厚生労働大臣による合否決定の手続き等を実施する。	・ 厚生労働省による合否決定に基づき下記のとおりホームページへ掲載し、全受検者へ結果通知の発送を行った。なお、追試験分は通知の送付のみ。 ① 3級：8月17日 ① 3級：10月12日（追試験分） ② 特級・1・2級：3月22日
(7) 合格証書の交付等の状況	-	・ 技能士合格者に対して、下記のとおり合格証書を交付した。 ※（）内は合格証書の再交付件数

事 項	計 画	状 況
		特級：183 (2) 人 1級：2,039 (36) 人 2級：3,590 (49) 人 3級：3,256 (19) 人 基礎級：917 (2) 人 随時3級：45 (0) 人
3 その他 (1) 秘密保持義務、業務制限等の周知	秘密保持義務、秘密事項の範囲、秘密資料の適切な取扱い及び業務制限について、試験業務に関わる役職員に対しては平成30年4月に部内研修で周知し、技能検定委員に対しては、選任時及び水準調整会議において周知徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘密保持義務を含む情報管理について、試験業務を担当する職員に対し9月に周知徹底した。 ・ 技能検定委員に対しては、秘密保持および業務制限について選任時に説明するほか、水準調整会議において説明し周知徹底した。
(2) 試験業務に関する内部監査の実施	試験業務に関与していない役職員を監査担当者に任命し、平成31年2月～3月の間に、試験業務を対象に、内部監査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験業務に関与していない調査研究開発部長および普及推進部所属の職員の2名を監査担当者とし、3月29日に実施した。

別紙1 試験日・実施地区

- 試験年度：平成30（2018）年度『平成30（2018）年4月1日～平成31（2019）年3月31日』

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
随時3級、基礎級	学科	4月2（月）～年3月31日（日） において当会が指定する日	各都道府県において、当会が指定する会場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時3級、基礎級は下記のとおり試験を実施した。 随時3級：4月2（月）～翌年3月31日（日） 基礎級：4月2（月）～翌年3月31日（日） 当会が指定する場所（主として、監理団体または受検者が所属する企業内または当会が確保した会場や当会保有の研修室）にて実施した。
	実技			
3級	学科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月8日（日） ・ 9月8日（土）・9日（日） 【7月8日の豪雨災害に伴う追試験日】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各都道府県に1会場を目安に、設置する。 ・ 具体的な会場設置場所は、県庁所在地または地理的・交通の便を考慮し、かつ平成27年度～29年度の実績及び平成30年度の受検希望者数をもとに決める。実績や希望者が少ない地域でも、他の試験会場までの距離や交通手段を考慮して試験会場を設置することがある。 ・ 企業・学校からの団体申込みの場合、当該企業・学校を会場とすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 7月8日（日）（9月8日（土）、9月9日（日））に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技	<ul style="list-style-type: none"> ① 機械系保全作業： <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月8日（日） ・ 9月8日（土）・9日（日） 【7月8日の豪雨災害に伴う追試験日】 ② 電気系保全作業： <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月16日（土）～7月22日（日）の間で、当会が指定する日に複数回実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業 <ul style="list-style-type: none"> 7月8日（日）（9月8日（土）、9月9日（日））に実施した。 ②電気系保全作業 <ul style="list-style-type: none"> 6月16日（土）～7月16日（日）の間で、当会が指定する日に、実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
特級	学科	1月20日（日）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 特級学科・実技試験は下記のとおり試験を実施した。 1月20日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技			

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
1 級	学科	1 月 20 日（日）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 1 月 20 日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技	① 機械系保全作業、設備診断作業 ・ 1月20日（日） ② 電気系保全作業 ・ 12月8日（土）～2月24日（日）の間で、当会が指定する日に複数回実施。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業、設備診断作業 1 月 20 日(日)に実施した。 ②電気系保全作業 12 月 8 日（土）～翌年 2 月 24 日（日）の間で、当会が指定する日に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
2 級	学科	12 月 16 日（日）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 12 月 1 6 日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技	① 機械系保全作業、設備診断作業 ・ 12月16日（日） ② 電気系保全作業 12月8日（土）～2月24日（日）の間で、当会が指定する日に複数回実施。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業、設備診断作業 12 月 16 日（日）に実施した。 ②電気系保全作業 12 月 8 日（土）～翌年 2 月 24 日（日）の間で、当会が指定する日に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり

別紙2 <平成 30 (2018) 年度 会場設置地区(都市)>

3級 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業) 、実技 (機械系保全作業) 56 都市 59 会場

札幌、八戸、弘前、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、福島、白河、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、東京 (23 区内)、横浜、新潟、長岡、富山、金沢、福井、甲府、松本、大垣、静岡、浜松、名古屋、四日市、大津、大阪、神戸、奈良、鳥取、松江、江津、岡山、広島、福山、山口、周南、高松、松山、高知、福岡、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、那覇

3級 : 実技 (電気系保全作業) 37 都市 延べ 39 会場

釧路、札幌、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、東京 (23 区内)、八王子、横浜、新潟、富山、金沢、福井、松本、大垣、静岡、湖西、名古屋、鈴鹿、草津、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、熊本、大分、宮崎、那覇、沖縄

3級追試験 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業) 、実技 (機械系保全作業) 7 都市 7 会場

大阪、岡山、福山、広島、松山、福岡

特級 : 30 都市 30 会場

札幌、仙台、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、東京 (23 区内)、横浜、新潟、富山、金沢、福井、松本、岐阜、湖西、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、奈良、岡山、広島、山口、高松、福岡、那覇

1級 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業) 、実技 (機械系保全作業・設備診断作業) 56 都市 58 会場

札幌、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、東京 (23 区内)、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、岡崎、豊橋、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、福山、広島、山口、周南、徳島、高松、今治、高知、北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇 (※那覇は設備診断作業未実施)

2級 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業) 、実技 (機械系保全作業・設備診断作業) 58 都市 61 会場

札幌、青森、八戸、北上、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、つくば、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、東京 (23 区内)、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、岡崎、豊橋、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、福山、広島、山口、周南、徳島、高松、新居浜、高知、北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

1・2級 : 実技 (電気系保全作業) 49 都市 延べ 126 会場

帯広、札幌、青森、北上、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、高崎、前橋、さいたま、千葉、東京 (23 区内)、横浜、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、大垣、浜松、静岡、湖西、名古屋、津、四日市、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、福山、広島、山口、徳島、今治、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

以上

機械保全職種 技能検定 (機械保全技能検定) 収支決算書

平成30年度 平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

事業の名称	機械保全技能検定
事業の内容	機械保全技能検定の実施
事業実施法人の名称	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

単位：千円

科 目		予算額	決算額	差異 (決算-予算)
I 事業収入	(1)受検手数料	421,786	458,225	36,439
	(2)その他収入	131,395	133,284	1,889
収入合計(A)		553,181	591,509	38,328
II 費用	(1)事業費	464,300	438,992	▲ 25,308
	諸謝金	24,000	31,005	7,005
	会場費	81,300	59,458	▲ 21,842
	旅費交通費	38,900	27,653	▲ 11,247
	消耗品費	10,200	9,333	▲ 867
	印刷費	16,100	7,116	▲ 8,984
	通信運搬費	55,000	48,858	▲ 6,142
	業務委託費	186,800	229,713	42,913
	減価償却費	20,000	20,657	657
	その他	32,000	5,199	▲ 26,801
	(2)管理費	120,337	117,085	▲ 3,252
職員人件費	83,006	80,209	▲ 2,797	
管理物件費	37,331	36,876	▲ 455	
費用合計(B)		584,637	556,077	▲ 28,560
当期収支(A-B)		▲ 31,456	35,432	66,888